

会 議 録

会議の名称	令和８年度第１回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和８年８月２６日（水）午後２時
開催場所	保健センター１階大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	☒ 可 ・ ☐ 一部不可 ・ ☐ 不可
傍聴者数	０人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	別紙のとおり
提出資料	
その他	

令和8年度第1回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和8年6月10日(水) 午後2時00分～午後3時03分

場 所 小金井市保健センター1階 大会議室

出席委員 11人

会 長 山 岸 博 美 委員

委 員 三 毛 明 人 委員 牧 野 ま や 委員 中 村 靖 夫 委員

委 員 斎 藤 恵 子 委員 高 田 倫 子 委員 高 橋 杏 樹 委員

委 員 坂 元 雅 明 委員 大 堀 雄 紀 委員 藤 澤 弘 委員

委 員 小 池 紀 子 委員

欠席委員 3人

中 西 晶 大 委員 桑 原 一 朗 委員 高 橋 正 恵 委員

事務局職員

健康課長

永 井 桂

健康係長

吉 田 正 友

健康係主任

萩 野 裕 人

健康係主事

中ノ森 美 優

健康係管理栄養士

平 石 瑞 穂

計画策定支援事業者

コクドリサーチ

傍 聴 者 0人

(午後2時00分 開会)

○山岸会長 皆様、こんにちは。定刻になりましたので、始めさせていただきます。

本日は、お忙しいところ御出席いただき、ありがとうございます。それでは、これより令和8年度第1回小金井市食育推進会議を開会いたします。

初めに、委員の出欠について、事務局からお願いいたします。

○事務局 それでは、本日の委員の出欠について御報告いたします。

事前に、中西委員、桑原委員、高橋正恵委員から欠席の御連絡をいただいております。

本日は、14名のうち、11名の委員に出席いただいております。半数以上の出席を得ておりますので、審議会は成立していることを報告させていただきます。

次に、配付資料の確認をさせていただきたいと思います。

事前に郵送させていただきました資料としまして、まず、次第でございます。それから、資料1、小金井市食育推進会議委員名簿、資料2、第5回食育市民アンケート調査報告書（案）、資料3、第5次小金井市食育推進計画（案）、資料4、小金井市食育推進計画進捗状況報告、それから、資料5、令和7年度食育コーディネータ実績でございます。また、当日配付資料としまして、先ほど、机上に配付をさせていただきました第48回「小金井市民の歯と口の健康2026」の御案内でございます。それから、閲覧用としまして、第4次小金井市食育推進計画を置かせていただいております。

お手元に資料がない方はいらっしゃいますでしょうか。過不足等ございましたら、こちら事務局のほうにおっしゃっていただければと思いますが、大丈夫でしょうか。

また、第4次の計画、閲覧用につきましては、お帰りの際、机上に置いたままをお願いいたします。回収をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

最後に事務連絡でございます。

御発言の際の注意事項でございます。会議録作成のため録音をしております。発言者名を正確に把握するため、会議において発言する際については挙手していただき、会長が指名後、御自身のお名前をおっしゃっていただいてから発言していただくよう御協力をお願いいたします。

以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、次第2、新委員紹介についてです。

前回会議終了後から、新たに食育推進会議委員に就任された方及び退任された方がいらっしゃいますので、事務局から紹介、報告をお願いいたします。

○事務局 それでは、資料1、小金井市食育推進会議委員名簿を御覧ください。

令和8年6月1日より、山田委員に代わりまして、小池紀子委員が、東京都多摩府中保健所からの推薦で委員となっております。なお、委嘱状につきましては、本日、机上への配付をもって、交付に代えさせていただきます。任期は、令和10年1月31日までとなっております。

それでは、小池委員から一言御挨拶いただいてよろしいでしょうか。

○小池委員 多摩府中保健所の小池と申します。着座にて失礼します。

4月1日付で異動してまいりまして、本日初めてこの会に参加させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

それでは、次に、退任された方の御報告でございます。

令和8年4月23日付で、古荘委員が退任されましたので、御報告させていただきます。

説明は以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

事務局のほうも人事異動があったとのことですので、事務局の紹介もお願いいたします。

○事務局 事務局でございます。

令和8年4月1日付で、事務局職員の人事異動がございましたので、御紹介させていただきます。

まず、私、令和8年4月1日付で健康課長として、着任しました永井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

そして、同じく4月1日付で健康係長に着任いたしました吉田です。

○事務局 吉田でございます。よろしくお願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。

委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

(1) 第5次小金井市食育推進計画に係る市民アンケート調査報告書(案)についてです。

事務局からお願いいたします。

○事務局 それでは、市民アンケート調査報告書(案)について、簡潔に説明をさせていただきたいと思います。

資料1を御覧いただければと思います。

それでは、説明させていただきます。新たに委員に就任された方もいらっしゃいますので、報告書の位置づけと概要を含めて御説明をさせていただきます。

このアンケート調査は、次期食育推進計画の見直しに当たり、市民の食に関する意識や行動の変化を把握し、今後の小金井市の食育のあり方を検討するための基礎調査として実施したものでございます。あわせて、小金井らしい食生活がどの程度実践されているか、また、第4次計画で設定している指標に関わる状況を把握する目的でもあります。

調査概要は、報告書の3ページから4ページに掲載をしております。

一般市民調査は、小金井市在住の18歳以上の市民2,000人を対象に実施し、宛先不明等10通を

除いた有効配布数は1,990件、回収数は758件、有効回収率は38.1%でございました。

小中学生調査は、市立小中学校各2校の小学4年生、中学1年生・2年生、計821人を対象に実施し、回収数は734件、回収率は89.4%でした。

報告書全体では、一般市民調査が7ページから129ページのところで、小中学生が131ページから154ページのところとなります。

「食育」への関心、朝食、野菜摂取、地産地消、食品ロス、共食、情報の入手方法など、第5次計画の検討に必要な項目を幅広く把握した内容となっております。

詳細な結果そのものは、前回までの会議でも御説明しておりますので、本日は、全てを再度御紹介するのではなく、主な傾向のみお伝えいたします。

主な傾向としましては、食育の認知は進んでいる一方で、若い世代を中心に、朝食の欠食、野菜摂取の不足、孤食の傾向、地場産野菜や市の食育事業に関する認知不足などの課題が見られました。

また、情報の入手先としてインターネットやSNSの割合が高く、食品購入時には価格を重視する傾向も確認されています。

なお、このアンケート調査報告書につきましては、本委員会終了後に印刷の手続に入る予定でございます。大きな修正を予定しているものではございませんが、表現や体裁も含め、お気づきの点がございましたら、本日のこの場で御意見をいただければと思います。

説明は以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

ただいま、事務局のほうから説明がありました。

ページ数が多いので全部見るのは大変かと思いますが、この市民調査、市民アンケートの調査報告書(案)について、御意見や御質問などがあれば、お願いいたします。

私のほうから補足説明といいますか、このアンケートの質問内容につきましては、前回までの食育推進会議において、質問事項をこの委員会を通じて検討いたしまして、こちらの内容で実施したというふうになります。前回は令和2年に行っていて、コロナの時期だったので、少しそういったことも踏まえて、コロナ後どうなったかというような質問事項の追加になっているかと思います。

事務局のほうから概要を説明いただいたのですが、いかがでしょうか。もし、特に意見がなければ、本案をもって確定というふうになりますけれども、よろしいでしょうか。

それでは、こちらの案をもって確定とさせていただきます。ありがとうございます。

では、次のほうに移りたいと思います。

次に、(2)第5次小金井市食育推進計画(案)についてです。

事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 事務局でございます。

続きまして、資料3、第5次小金井市食育推進計画（案）を御覧ください。それでは、小金井市食育推進計画（案）について、御説明をさせていただきます。

まず、初めに、本日ににつきましては、この第5次小金井市食育推進計画（案）のうち、第1章と第2章について御説明をさせていただきます。

第1章では、計画策定の背景や位置づけ、計画期間、策定体制について整理をしております。

第2章では、小金井市の食をめぐる現状や課題について、市の特徴、これまでの取組、市民アンケート結果、食育関連事業の実施状況、第4次計画の点検結果を踏まえて整理をしております。

本日の計画書（案）の説明では、アンケート報告書を根拠資料として踏まえながら、現状をどのように整理し、課題として位置づけたかという点を中心に御覧いただければと考えております。

それでは、まず、第1章、食育推進計画の策定にあたってでございます。

1ページを御覧ください。第1章は、（1）食育とは、（2）計画策定の背景、（3）計画の位置づけ、（4）計画の期間の4つの項目で構成をしております。

まず、初めに、1ページ目の（1）食育とはでございます。

ここでは、食育基本法に基づき、「食育」を生きる上での基本であり、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものと位置づけております。小金井市の食育推進計画も、この食育基本法の考え方を踏まえて策定するものでございます。

次に、2ページ目を御覧ください。（2）計画策定の背景についてでございます。

本日時点では、国の正式な計画がまだ示されていないため、現時点では、骨子案や構成案を基に、重点課題等を記載しております。国の計画が公表され、大きな修正が必要な場合には、今後更新をしております。現時点では、「学校等での食や農に関する学びの充実」、「大人の食育の推進」、「国民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大」を重点事項としております。また、東京都では、令和8年3月に、第5次東京都食育推進計画を策定し、「生涯を通じた心身の健康を実現する食育の推進」、「食卓と生産現場の距離を縮める食育の推進」、「持続可能な食を支える食育の推進」を重点的に展開することとしております。

小金井市では、平成20年6月に食育推進計画を策定して以降、食育を総合的かつ計画的に推進してきましたが、現行計画が令和8年度末で終了することから、これまでの施策の成果や課題、市民の食に関する現状を踏まえ、次期計画を策定するものでございます。本計画は、市独自の考え方だけではなく、国や東京都の新たな動向と整合を図りながら見直しを行うものでございます。

続きまして、3ページ目を御覧ください。（3）計画の位置づけについてでございます。

本計画は、「第5次小金井市基本構想」及びその実現のための「後期基本計画」に基づく個別計画として位置づけております。

また、「健康増進計画」をはじめとする関連計画と整合・連携を図りながら、本市の食育施策を総合的かつ体系的に推進する役割を担うものでございます。

（4）計画の期間は、令和9年度から令和13年度までの5年間としております。

以上が、第1章の概要でございます。

第1章では、本計画が食育基本法を踏まえた計画であり、国や東京都の計画、市の上位計画や関連計画と整合を図りながら、令和9年度から令和13年度までの5年間で推進するものであることを整理しております。

続きまして、第2章でございます。

第2章、小金井市の食をめぐる現状と課題についてです。

第2章では、（1）小金井市の概況、（2）小金井市の取組、（3）市民の食に関する意識の現状と課題、（4）市及び市内団体による食育関連事業の実施状況と課題、（5）第4次計画の点検、の5つの項目で構成をしております。

まず、4ページ目を御覧ください。（1）小金井市の概況、及び（2）小金井市の取組についてでございます。

小金井市は、東京都のほぼ中央に位置し、約12万人が暮らす市であり、野川、玉川上水、国分寺崖線、各公園など、緑と水に恵まれた環境を有しております。また、生産緑地や、都市農地の保全に取り組み、江戸東京野菜など地場産農産物の流通促進にも努めております。

こうした地域資源を背景として、本市では、「野菜」「団らん」「ふれあい」「環境」をキーワードに、小金井らしい食生活のあるひとづくり・まちづくりを“Koganei Style”として展開してきました。

次に、5ページを御覧ください。（3）市民の食に関する意識の現状と課題でございます。

ここでは、「第5回食育市民アンケート」調査結果を基に、小金井市の食をめぐる現状と課題を整理しております。

調査の概要につきましては、先ほどアンケート調査報告書内で説明しておりますので、この場では割愛をさせていただきます。また、本日は時間も限られておりますので、アンケート結果のうち、主な項目を抜粋して御説明をさせていただきます。

まず、朝食の摂取状況について御説明いたします。6ページから8ページが該当となります。一般市

民では、朝食を「食べる」と回答した人が、全体として高い割合を占めておりますが、10・20歳代、30歳代では「食べない」が2割以上となっております。また、朝食を食べなくなった時期としては、「青年期（15歳から24歳）」が31.7%で最も多くなっております。小中学生についても、学年が上がるにつれて、朝御飯を「ほとんど毎日食べる」割合が減少しております。

このことから、若い世代を中心に、進学や就職など、ライフステージの変化をきっかけとして、朝食習慣が乱れやすい状況が見えてきます。今後は、子どもから若年、現役世代までを見通しながら、朝食の大切さを分かりやすく伝え、実践につなげていくことが必要であると考えております。

次に、共食の状況についてでございます。該当ページは8ページから11ページとなります。

家族と一緒に朝食を食べる頻度では、10・20歳代では、「ほとんどしていない」が56.3%となっております。また、小中学生では、学年が上がるにつれて家族と一緒に食べる割合が低下しており、中学2年生では、朝食で「1人で食べる」が69.2%、夕食でも38.7%となっております。

こうした結果から、若年層や子どもにおいて、孤食の傾向が見られます。食事は栄養をとるだけでなく、家族や周囲の人とのコミュニケーション、食事の楽しさ、食事のマナーなどを学ぶ機会でもあります。そのため、今後は、共食の意義を改めて大切にしながら、食を通じたつながりを支える取組が必要であると考えております。

続きまして、野菜の摂取状況についてでございます。該当箇所は、12ページ、それから、13ページとなります。

一般市民の野菜摂取状況では、「小鉢2皿程度（140g）程度」が30.3%で最も多くなっている一方で、国が目標としている1日350グラムの摂取に達している人は限られており、十分な摂取に至っていない状況が見られます。

また、1食につき副菜を1～2皿食べることにについて、30歳代では「改善したい」が、70.1%となっており、改善意欲は高いものの実践が難しい状況がうかがえます。このため、野菜摂取の必要性を伝えるだけでなく、忙しい世代でも取り組みやすい具体的な方法を示しながら、実践につなげていくことが課題です。特に若年層や現役世代に対しては、日常生活の中で、無理なく取り入れられる工夫を伝えていくことが重要であると考えております。

次に、地産地消についてでございます。該当ページが14ページから15ページとなります。

小金井市内で採れた野菜を買う頻度については、10・20歳代で26.6%、30歳代で21.6%、40歳代で18.3%が、「販売されていることを知らない」と回答しております。一方で、70歳以上では、「いつも買う」と「時々買う」を合わせた割合は、43.7%となっております。

この結果から、小金井市の地場産野菜について、若い世代や現役世代に十分情報が届いていないこと

が課題と考えられます。今後は、地場産野菜の魅力や、購入場所などを分かりやすく周知するとともに、実際の購買行動や利用につながるような工夫が必要であると考えております。

続きまして、食品ロスについてでございます。該当箇所は、16ページから17ページでございます。

食品ロス削減に関する取組状況では、「買物をするときに必要な量だけ購入する」が69.1%、「賞味期限を正しく理解し、捨てずに食べられるかどうかの判断をしている」が60.0%、「無駄なく使いきるよう工夫して調理している」が58.4%となっております。

また、食品ロスを少なくするような食事作りをしている市民は、令和2年度の52.1%から、令和7年度の64.5%へ増加しております。

この点を見ると、食品ロスに対する市民意識は一定程度高まっていると考えられます。一方で、意識を継続的な行動に結びつけていくことが今後の課題でございます。そのため、買い過ぎない、作り過ぎない、食べ切る、といった具体的な実践につながる取組を進めていく必要があると考えています。

では、続きまして、食育の認知についてでございます。

該当ページは、20ページから22ページとなります。

食育という言葉について、「言葉も聞いたことがあり、意味も知っている」と回答した割合は、令和2年度の51.7%から、令和7年度の66.0%へ上昇しております。一方で、「食育の日」や「食育月間」については、広い年代で、「両方とも知らない」という回答が多く、認知が十分とは言えない状況でございます。

このように、食育という言葉自体の認知は進んでいるものの、具体的な取組や機会の周知については、依然として課題が残っております。今後は、言葉の認知にとどまらず、具体的な行動や参加につながる情報発信の工夫が必要であると考えております。

次に、食育活動への関心についてでございます。該当ページが、23ページから26ページでございます。

小金井市の食育イベントについて、「参加したことはない」が54.5%、「行っていることを知らない」が38.0%となっております。一方で、参加してみたい活動としては、「生活習慣予防などのための料理教室」が29.0%、「食品ロスや食品リサイクルに関する活動」が26.9%、「郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動」が23.4%となっています。

このことから、市民の関心が低いというよりも、市が行っている食育活動の情報が十分に届いていない面があると考えられます。そのため、各世代の関心に合わせた事業内容の工夫に加え、情報発信の手法や伝え方を見直していく必要があります。

続きまして、栄養バランス、情報入手方法、食品購入時のポイントについてでございます。該当ペー

ジが、27ページ、それから32ページでございます。

栄養バランスのとれた食事については、30歳代で改善したいが62.9%と高くなっております。

29ページになります。食と健康に関する情報の入手先では「インターネット・SNS」が、66.0%で最も多く、「テレビ番組」が58.2%で続いております。

さらに、31ページでございます。食品購入時のポイントでは、「価格」が83.1%で最も高く、「消費期限や賞味期限」が70.7%、「原産国や生産地」が59.2%となっております。

この点から、情報発信については、インターネットやSNSも含めた多様な媒体の活用が重要であることが分かります。また、物価高騰の影響なども背景に、食品購入時には価格が強く意識されているため、健康や栄養、食の安全性、地産地消といった視点を日々の生活実態に即した形で、分かりやすく伝えていく必要があると考えております。

続きまして、33ページを御覧ください。該当ページが、33ページから35ページでございます。《現状の分析と課題》についてでございます。

ここでは、本市の食育は、食品ロス削減への意識や食生活を改善したいという意欲に支えられている一方で、世代間の差や、意識と実践の間に乖離が見られることを整理しております。特に、10歳代から30歳代の、若年、現役世代において、朝食の欠食、野菜摂取の不足、孤食化、地産地消や市の食育事業の認知不足といった課題が見られます。また、情報の入手先がデジタル化している一方で、必要な情報が十分届いていないという状況も伺えます。

以上を踏まえると、今後は対象となる世代の特性に応じた情報発信の強化、SNSなどのデジタル媒体の活用、体験機会の充実、地域の食資源を生かした取組を進めることにより、市民が正しい知識を実践につなげ、主体的に健全な食生活を選択できる環境づくりが必要であると考えます。

続きまして、(4)市及び市内団体による食育関連事業の実施状況と課題でございます。こちらは、現時点でも作成を進めているところでございますので、次回以降の委員会において、お示しさせていただきたいと思っております。

最後に、37ページ、38ページでございます。(5)第4次計画の点検についてでございます。

第4次計画の指標については、いずれの項目も目標達成には至っておりませんが、項目1、「食育という言葉や意味を知っている」、項目2、「毎日きちんと朝食を食べる」、項目6、「食生活に地産地消を取り入れる」、項目7、「食品ロスの軽減」については、令和2年度と比較して改善傾向が見られます。一方で、項目3、「家族と一緒に食事をする」、項目4、「バランスのとれた食事をする」、項目5、「野菜は1日350g摂取を目標とする」などは、引き続き課題が残る計画となっております。

このことから、第4次計画では、一定の成果は見られるものの、目標達成にはなお課題が残っており、

特に、共食、野菜摂取、栄養バランスといった行動面での実践をどう支えていくかが重要であると整理しています。

これらの点検結果を踏まえ、第5次計画では、これまでの取組を継承しつつ、より実践につながる工夫や、対象世代に応じた働きかけを進めていく必要があると考えております。

まとめでございます。

第1章では、計画策定の背景、位置づけ、計画期間、策定体制を整理し、第2章では、小金井市らしい食育の特徴とともに、市民アンケートや既存事業の実施状況、第4次計画の点検を踏まえた現状と課題を整理しています。

特に、第2章を通じては、食育の認知や食品ロス削減など、改善が見られる面がある一方で、若年、現役世代を中心に、朝食欠食、孤食、野菜不足、地産地消の認知不足、情報が十分届いていないことなどの課題が見えてきております。

そのため、第5次計画では、これまでの“Koganei-Style”の考え方を生かしつつ、世代特性に応じた情報発信、実践につながる働きかけ、地域資源を生かした取組の充実が重要であると考えています。

本日は、第1章、第2章の記載内容や、現状認識、課題整理の方向性について御意見を頂戴できればと考えております。

説明は以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

ただいま、事務局から説明がございました。

第5次食育推進計画（案）について、御意見、御質問などがあればお願いいたします。

斎藤委員、よろしくお願いいたします。

○斎藤委員 斎藤です。よろしくお願いいたします。

推進計画（案）を今、説明いただいたのですけれども、これは、大まかな方向性は理解できたのですが、具体的にどういうことをしていくかというのは、これから決めていくということでしょうか。

○事務局 事務局でございます。

そうです。これはまだ、第1章、第2章、アンケートの結果、それから、現計画の総括を踏まえたところまでつくっています。今後どのような施策を展開していくかというところの章立てにつきましては、また次回以降の会議の中で、案としてお示しさせていただければと思います。

○斎藤委員 私はよく理解できていなくて、いろいろ質問させていただきたいのですが、例えば、食育について知らない人が40代とかの方とか結構多いのですけれども、小学校とか中学校とかに行ってい

らっしゃる方の御両親だったりとかが多い世代なのではないかなと思うのですが、例えば、給食だよりだったりとか、そういったところで何か説明があったりとか、何か学校の食育というのがどういうふうになっているのかなと思ひまして、お伺いさせていただきたいと思ひます。

○山岸会長 それでは、高田委員、よろしくお願ひいたします。

○高田委員 辻調理師専門学校東京から参りました管理栄養士の高田と申します。よろしくお願ひいたします。

辻調理師専門学校東京ができてから、まだ開校から2年目にはなるのですが、その開校当初から、小金井市の小学校の給食の第三者評価員として携わらせていただいております。その中で、子どもたちの食育の現状を、私も少しだけ拝見させていただいたことがあるのですが、辻調理師専門学校東京の前身校であるエコール辻東京から、その所在地である市町村の給食にも関わらせていただいたのですが、小金井市は、学校給食を自校調理で行っている都内でも非常に給食を頑張っている市だなというふうに、私も拝見して感じているところで、学校の栄養士さんともお話をさせていただいた中でも行事食であつたりとか、給食だよりであつたりとか、日々、子どもたちには、食育という面では、情報やお話をしていただいているなという印象は今、受けている現状でございます。

なので、それが親御さんにどのように伝わっていくかというのは、私のほうではちょっとまだ把握はできていませんけれども、小学校、中学校の子どもたちには、非常に食育という面では、小金井市は、頑張っているのではないかなという印象を受けております。

○山岸会長 あと、この後の議題の推進計画の進捗状況で、例えば、学校においてはどのようなことを取り組んでいるのかとか、食育は本当にいろいろな課が関わっていると思ひますので、もしかすると、資料4のこちらの説明を受けていただけると、小金井市が、こういったこと、食育を推進するのに、各部署がどのような取組を行っているかというのが、ちょっと見えてくるのではないかなと思ひますが、また、御意見ありましたら、お聞かせいただければと思ひます。

そうしたら、すみません。ちょっと時間の関係もありますので、次の議題に移ります。

次に、（3）小金井市食育推進計画進捗状況調査結果についてです。

こちら事務局より説明をよろしくお願ひいたします。

○事務局 事務局でございます。

それでは、資料4を御覧ください。小金井市食育推進計画進捗状況報告でございます。

先ほど、御質問のあつたとおり、ほかの各学校等での取組等も記載をさせていただいているところでございます。

資料4のまず1ページを御覧いただければと思ひます。

まず、この配布した報告用紙について説明をさせていただきたいと思います。この報告用紙の左から2列目の「頁」の欄のところでございます。この「頁」の欄につきましては、第4次小金井市食育計画に掲載されておりますページを示しております。3列目の番号は、第4次小金井市食育計画にある項目ごとの事業の番号となっております。事業は、計画の34ページから42ページまでに掲載されております。全部で68事業が掲載をされております。

次に、令和6年度進捗状況の右側でございます。令和7年度進捗状況が、本年度御報告させていただく令和7年度の状況でございます。

自己評価は、報告書の1ページ目の左上の※1のとおりでございます。各担当課で評価をしております。事業の進み具合を評価するものとなっております。

右側、※印に、効果が期待される食育の視点につきましては、計画書の30ページにある7つの指標のことを示しております。これも、担当課でその事業の該当する部分に○を入れております。また、一番期待するものについて◎をつけております。なお、各担当課で、既に廃止した事業につきましても、計画に項目がありますので、記載をしております。

以上が報告用紙の説明でございます。

それでは、主に健康課の事業について説明をさせていただきたいと思います。

1ページ目を御覧ください。No. 1、「食育月間・食育の日の取組」でございます。6月の食育月間には、小金井宮地楽器ホールにおいて、小金井歯科医師会主催で開催されました「小金井市民の歯と口の健康」において、第4次食育推進計画のチラシ、669枚を配布いたしました。

次に、4ページ目を御覧ください。No. 2でございます。「小金井らしい食生活の推進」でございます。栄養講習会、フォローアップ教室などでバランスのよい食生活の啓発を行い、デモンストレーションや試食、調理実習等を行うことができました。

次に、5ページを御覧ください。No. 3の「農業祭等での啓発活動」についてでございます。現在は、「産業祭り」が開催をされております。令和5年度まで食育関係チラシを配布してきておりましたが、先ほどの「小金井市民の歯と口の健康」や健康課事業内で、各種チラシを一定数確実に配布できていることから、「産業祭り」での配布を令和6年度より中止をすることといたしております。

次に、7ページを御覧ください。No. 11とNo. 12、「食育ホームページ」についてでございます。

食育ホームページ編集委員の皆様は、毎月のレシピや食品クイズ等を掲載していただいております。市では、健康課のX（旧Twitter）への掲載や、健康課事業や、成人の日記念行事等で、チラシの配布をするなどの周知を行わせていただきました。

また、No. 13、次の8ページを御覧ください。8ページのNo. 14について、季節に応じて収穫できる野菜の紹介や食べ方の分かりづらい野菜などのレシピ等についても掲載していただきました。経済課の農業カレンダーにも御協力をいただいております。

次に、同じ8ページの中です。No. 18、「5 地場野菜等の販売推進」についてでございます。学務課との合同事業である夏休みの栄養講習会では、地場野菜を使った江戸こがね汁について、講義の中で触れていただきました。

No. 30、48、56、57、58、62の各種事業実績については、記載どおりでございます。次に、15ページを御覧いただければと思います。No. 55、「5 ミニパンフレットによる情報発信」、及び18ページでございます。18ページを御覧いただければと思います。No. 68です。「4 大学等との連携推進」でございますが、多摩府中保健所のマスコットキャラクター「PAKUたん」と「ちゃんとごはんマスタークイズ」のQRコードを使用したステッカー800部を作成し、二十歳を祝う会にて配布をいたしました。

雑駁でございますが、説明は以上となります。

委員の皆様で御参加、関わってくださっている事業が数多くあるかと思います。説明を含め、御意見等あれば、いただければと思います。よろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

ただいま、事務局から説明がございました。

様々な担当課におかれまして、この小金井市の食育推進計画の進捗状況調査結果について、御説明いただきましたが、何か御意見や御質問等があれば、お願いしたいと思います。

あと、ホームページにつきましては、この後また御紹介、御報告があるかと思いますが、いかがでしょうか。何か御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

小池委員、よろしくお願いいたします。

○小池委員 多摩府中保健所の小池です。

たくさんの事業をされていますが、行政、保健所も同じなのですけれども、情報提供をするだけではやはりなかなか伝わらないというか、実際、市民の方が改善しなければ、アンケート調査の結果もあったと思うのですが、市民の方が、自分のことと認識して行動変容につながらなければ、事業をどれだけやっても、情報提供をどれだけやっても、というのが、保健所事業もそうなのですけれども、常日頃思っているところです。確かに行政としてこれだけやったということを共有させていただくのはとてもありがたいというところではあるのですけれども、これを踏まえて、行政がやることもそうですけれども、

市民の方にどんなことをやってもらいたいのかということを考えた計画になると、恐らく先ほど御説明いただいた調査結果を踏まえて、現状こんな課題があるという認識のちょっとでも改善につながるのではないかなというふうに感じています。なかなか情報提供だけでは、行動変容には移らないということは、もう明確に言われているところなので、そこを皆さんのお知恵をいただきながら、どうやっていくのかということを検討できるといいのかなというふうに思いました。感想ですけれども。

○山岸会長 ありがとうございます。

そうですね。先ほどのアンケート結果でも、やはり参加していないという割合というのも多いですし。

○小池委員 そうですね。関心のない人は多分、幾ら情報提供しても、そこにはたどり着かないので、全体の底上げをするというところでは、関心のない人たちにどうやってこの情報をどれだけ伝えられるかということを、保健所もですが、考えてやっていく必要があるのかなと思っております。

○山岸会長 ありがとうございます。

本当に情報発信の場も、令和2年と7年では、SNSのところの割合がぐっと増えているとか、あと発信の仕方から、キャッチしてもらって、それを自分事として捉えるというのは、本当に課題だなと思います。

ほかの委員の方、何か御感想でもいいので、お聞かせいただければと思いますが、よろしいですか。

では、すみません。こちらのほうは、一旦終わらして、次の議題に進みたいと思います。

次は、（４）令和7年度食育コーディネータ実績についてです。

こちら事務所のほうから説明をお願いいたします。

○事務局 事務局でございます。

資料5、令和7年度食育コーディネータ実績を御覧ください。

令和7年度の実績となっております。令和7年8月21日に、多摩府中保健所様から御依頼をいただきまして、食生活改善普及運動の9月1日から9月30日でございますが、この期間に合わせまして、「からだ気配りメニュー店」のチラシをそれぞれ配布させていただきました。市内公民館に配布、それから、武蔵小金井駅、東小金井駅構内に配架をさせていただいております。それとポスターにつきましては、C o C oパスの中に掲示をさせていただいております。

令和7年度の食育コーディネータ実績につきましては、以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありました。令和7年度食育コーディネータ実績について、こちらの御意見、御質問などがあれば、お願いいたします。資料5についてですが、いかがでしょうか。

ありがとうございます。そうしましたら、次の議題に移りたいと思います。

次は、（５）小金井市食育ホームページについてです。

三毛委員のほうからお願いいたします。

○三毛委員 食育ホームページの編集委員をしております三毛と申します。よろしくお願いいたします。

前回のこの推進会議、３月１０日に開催されましたので、それ以降のホームページの進捗状況を報告させていただきます。

毎月、小金井市の野菜を使いました簡単レシピということでアップをさせていただいていますけれども、３月はノラボウ菜、４月は新タマネギ、５月はフキを食材としたレシピを掲載しております。６月は、毎年恒例になっているルバーブを使ったレシピで、現在、担当の委員が準備しております。

このレシピですけれども、編集委員の打合せの結果、今後は毎月１５日をめどにアップすることになりました。皆さんのほうでも、１５日ぴったりのわけにいかないかもしれませんが、１５日を過ぎたら、新しいメニューがホームページに上がっているのではないかとということで、ぜひチェックをしていただいて、周りの方にお話しとかしていただけるとありがたいなと思っております。

それから、これまで、ホームページの立ち上がりが遅いとか、操作をしているとおかしな表示が出たりということが指摘されていたので、今回、健康課に調整していただいて、システムを動かしている業者の方と編集委員との間で打合せをする場を設けていただくことになりました。打合せの状況等につきましては、次の小金井市食育推進会議で報告をさせていただければと思います。

以上のように少しずつですけれども、ホームページを使いやすいようにしていきたいと考えておりますので、委員の皆様からも、いろいろ意見を出していただけるとありがたいなと思っております。

以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

今ほどの三毛委員のお話について、質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

では、ぜひアクセスのほうもお願いして、また、レシピ等見ていただければと思います。

あとは、もしありませんでしたら、ほかにお知らせや報告のある委員さんはいらっしゃいますでしょうか。もしよろしければ、こちらのほうの「歯と口の健康２０２６」のほうで、坂元委員、よろしくお願いいたします。

○坂元委員 小金井歯科医師会のほうから参りました。

６月２１日に、このパンフレットにありますけれども、「歯と口の健康２０２６」を開催しますので、できましたら、皆さん周りの方に宣伝してみてください。食育とは関係あるかどうかは別としても、健康になると思いますので、ＰＲのほうよろしくお願いいたします。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

口腔ケアとかいろいろな催しもあるので。

○坂元委員 そうですね。保健所の先生にもいらしていただきますので。

○山岸会長 ぜひお時間のある方はお願いいたします。

ほか、よろしいでしょうか。

斎藤委員、よろしく願いいたします。

○斎藤委員 ごめんなさい。ありがとうございます。

この資料の4を見せていただいたのですけれども、やはりどちらかというと、食育はもう小学生とか中学生を対象としたものが多いような気がするのですけれども、今、フレイルの方とかもすごく増えてきていますし、幅広い年代に対しての食育が必要なのではないかなとちょっと感じました。意見としてですけれども……。

○山岸会長 そうですね。生涯を通じて行っていくので、学校だけでなく、本当に多分、妊娠期から御高齢の方まで関わってくることだとは思いますが、まだ、そういった全世代に向けての催し物、そして、やはり関心のある催し物が確実に届くようにしていくということも、もしかすると、これからの課題にもなってくるのかなと思っております。

すみません、答えになっているかどうか分かりませんが、学校も本当にたくさんやっていると思うのですが、学校だけではなくて、多分いろいろな各担当課でもこれだけのことをやっているの、何か本当にもっと市民の方に定着していただければ、よい化学反応が起きていいのではないかなと思っています。また、忌憚のない御意見をお聞かせいただければと思います。ありがとうございます。

これで、議題のほうは終了となります。

あと最後に、4、その他になります。事務局のほうから何かありますでしょうか。

○事務局 事務局でございます。

次回の食育推進会議についてでございます。8月中旬頃の開催を考えております。開催日が決まりましたら御連絡をさせていただきます。また、開催通知、資料につきましては、開催日近くになりましたら、送付をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

今回は、8月の中旬頃を予定しているということです。また、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和8年度第1回小金井市食育推進会議を終了いたします。

皆様、本日はありがとうございました。

— 了 —